



7月保育所だより

令和5年6月30日
桑折町醸芳保育所

木々の緑が目にしみる季節となりました。保護者の皆様には日頃より保育所運営にご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことで、全国的に乳幼児のかぜが流行っている（RSウイルス感染症やアデノウイルス感染症、ヘルパンギーナ等）という報道があります。感染予防を徹底していた頃に比べ、その取組がゆるくなり各種ウイルスが存在しやすくなっていることが原因と言われています。大人は免疫力・病気への抵抗力が高く、ちょっとしたウイルスに負けなくても、子ども（特に0歳児～2歳児）は免疫力・抵抗力が低く、ウイルスが体内に入ると感染症を発症してしまうようです。保育所では今後も手洗い・消毒・換気等、感染症対策をしっかりと行ってまいりますので、ご家庭でもお子様の健康管理のご協力、よろしくお願いいたします。

さて、6月9日～16日にかけて実施しました保育参観に、お忙しい中ご参加頂きましてありがとうございました。クラス毎の実施ではありましたが、保護者様の出席率は100%（登所した子ども対象）でした。短い時間でしかも降所活動の一端ではありましたが、子どもたちの保育所生活の一部をご覧頂けたかと思えます。保育所としましては、保育参観によって保護者の皆様の「安心」に繋がれば幸いです。

<今月の保育の目標>

0歳児

- 気候や体調に留意し、健康に過ごせるようにする。
- 沐浴や水遊び、夏ならではの遊びを行い、水の感触を楽しめるようにする。

1歳児

- 暑い夏を健康で快適に過ごす。
- 水や砂などの感触を味わいながら、夏の遊びを楽しむ。
- 保育者に見守られながら、自分の思いやして欲しいことを伝える。

2歳児

- 十分な休息をとりながら、暑い夏を健康、快適に過ごす。
- プールや水遊び、泥んこ遊びなど、夏ならではの遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。
- 衣服の着脱や片づけ方を知り、手伝ってもらいながら自分でやってみようとする。



<7月の行事予定>



<8月の主な予定>

- 3日 スイカ割り
- 24日 避難訓練
- 30日 保育所夏祭り
- 31日 誕生会



< 保育所からのお知らせ・お願い >



【外部機関相談窓口】

保育所のことを外部機関に相談したい場合、主任児童委員へご相談いただくことができます。主任児童委員は、地域の子どもに関する関係機関への連絡調整や相談支援などを行っています。

主任児童委員（桑折・睦合地区） 遠藤 真理子 さん

主任児童委員（伊達崎・半田地区） 鈴木 順子 さん

問合せ先：社会福祉協議会

☎ 0 2 4 - 5 8 2 - 1 1 5 5

【プール・水遊び】

プール・水遊びを実施するかどうかは、気温や天候を見て保育所が判断します。服薬や、皮膚症状等お子さんの体調から、水遊びができないと判断した日は、その旨を連絡帳に記載してください。

【毛布と上履き】

午睡用毛布と上履きを持ち帰ります。（既に持ち帰ったクラスもあります。）夏場は使用しませんので、自宅で保管してください。冬に使用する際、またお知らせします。

【実習生受入れ】

7月28日～8月10日まで実習生を3名（福島学院大学1名、福島学院大学短期大学部2名）受け入れます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

< クラスよい >

たまご組

気温の変化に応じて、洋服での調整も行いながら、エアコンを使って快適に過ごせるようになってきました。子どもたちが自由に動くことができるようにテラスをオープンにして遊んだり、戸外に出たりなどして楽しみました。お遊戯室では、滑り台を楽しんだり、たくさん歩いたりして身体を動かして遊びました。室内では、風船マットに乗ったり、冷え冷えボトルや冷え冷えジェルバックに触れて感触を楽しんだりしました。7月は、気温や体調を見ながら、水遊びも経験させていきたいと考えています。



これが冷え冷えボトルです →



ちゅうりっぷ組

先日は保育参観にお越しいただき、ありがとうございました。いつもと違う雰囲気泣いてしまったお友達もいましたが、慣れてくるといつも通り、おやつを食べ、楽しく元気に活動することができました。お母さんと一緒におやつを食べることができて、子どもたちも嬉しそうでしたね。

6月は、体調不良などで室内での活動が多くなってしまいましたが、7月は体調を見ながら、天気の良い日に水遊びに挑戦したいと思います。

← 保育参観での親子ふれあい遊び



すみれ組

先月から食後のエプロンを自分でリュックの所まで運ぶよう練習していました。少しずつ自分のリュックを覚え、担任が付き添わなくとも袋に片付けられる子どもが増えてきました。7月は水遊びに向けて、着替えの練習(ズボンやオムツの上げ下げ)をしていきたいです。おうちでもウエストのゴムの部分を握ってもらい「グーン」と上げ下げの練習をしてみてください。

←自信に満ち溢れたエプロン収納

ゆい組

暑くなってきましたが、子ども達は元気いっぱいです。梅雨の時期、室内で遊ぶことが多くなりましたが、クレパスでの塗り絵や、小麦粉粘土、片栗粉遊びなどで、手先・指先を使って遊ぶことを楽しんでいます。少しずつ、身の回りのことにも興味を持ってきている、ゆい組さん。ずぼんやおむつ、靴、帽子など、着脱を自分でやってみようとする姿が見られています。「できた！」と自分でパチパチとしたり、保育者とやったー！と喜び合ったりして、“自分でできた！”という喜びを味わう姿が見られています。是非おうちでも、できるところを見守りつつ、励ましていただけたらと思います。



↑『かえるの合唱』を歌いながら、楽しく塗り絵

ひまわり組



梅雨に入り雨の日が続き戸外に出られない日も、遊戯室で元気に遊んでいるひまわり組です。でも、やはり戸外遊びが好きな子ども達は、「おしよと(外)行く？」と外を眺めながら話していました。

梅雨の晴れ間、泥遊びに挑戦しました。裸足になって庭に出ると「うわあ〜」と喜んで遊ぶ子とソロ

リソロリとやっと歩いている子、一歩も動かずにじっとしている子、ダイナミックに水たまりの中でジャンプをする子の姿と様々な姿が見られました。これから暑い日は、戸外にて水遊びを楽しみたいと思っています。



↑みんな大好き泥んこ遊び

さくら組

暑い日は泥んこ遊びを楽しみました。泥んこ遊びをすることを伝えると「泥んこ遊びするの?!」と目を輝かせる子ども達!! 始めはそろそろと外へ出ていきましたが、噴水やスプリンクラーを見つけると「うわあ~!!」と歓声が上がりました。全身で水の冷たさを感じたり、水が流れる様子をじっと見たり、泥んこで山やごちそうを作ったり...その子なりの楽しみ方で楽しんでいます。これから水遊びや泥遊び、色水遊びや小麦粉粘土など夏ならではの遊びをたくさん楽しんでいきたいと思います。また、着替えの機会が多くなるので自分で衣服を脱いだり着たりできるようかかわっていききたいと思います。



↑水が気持ちいい噴水マット

福島蚕糸跡地町有地利活用事業における「幼保連携型認定こども園」の開園時期の延期について

醸芳保育所保護者各位

桑折町長 高橋宣博
(公印省略)

福島蚕糸跡地町有地利活用事業における「幼保連携型認定こども園」の
開園時期の延期について

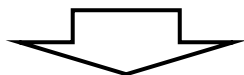
日頃より、本町の保育・教育行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和6年4月開園予定の「幼保連携型認定こども園」につきまして、事業者である「社会福祉法人松葉福祉会」から町に対して、今年度に入り、建設予定地に多量の地下埋設物が確認されたことにより、建物の構造上、さらには子どもたちの安全を確保するため、土壌改良の必要性が生じたことから、工期が約7カ月遅れるとの申し出がありました。

町としましては、誠に遺憾であり、事業を進めるうえで、重大かつ深刻な事態と受け止め、現在、諸手続きについては、凍結せざるを得ない状況にあります。

改めて、令和6年4月の開園を期待している保護者の皆さまに深くお詫びを申し上げますとともに、ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和6年度におきましては、これまでどおり醸芳保育所・醸芳幼稚園において待機児童ゼロを堅持しながら運営を継続するとともに、令和7年4月の開園に向けて、事業者と協議を進めてまいります。



上記の内容は、令和5年6月13日に町から保護者の皆様に配付された通知です。従って、次年度の令和6年4月1日は、次のようになりますので、よろしくお願いいたします。

- (1) 令和5年4月1日現在の2歳児(さくら組・ひまわり組)の皆さんは、基本的に醸芳幼稚園に入園することとなります。
- (2) 令和5年4月1日現在の0歳児と1歳児(たまご組・ちゅうりっぷ組・すみれ組・ゆり組)の皆さんは、基本的に醸芳保育所に継続入所し、それぞれ進級することとなります。